

正平協・沖縄映画の日

私たちは沖縄の事を、どれくらい知っているのでしょうか？

沖縄を知り、祈り、行動するための映画会

戦後71年沖縄は問いかける 戦争に翻弄されてきた沖縄の近現代史を見つめ、人々の尊厳を伝える
うりずんの雨は 地の雨 涙雨 礎の魂 呼び起こす雨



「うりずん」：潤い初め（うるおいぞめ）が語源とされ、冬が終わって大地が潤い、草木が芽吹く3月頃から、沖縄が梅雨に入る5月くらいまでの時期を指す言葉。沖縄地上戦がうりずんの季節に重なり、現在も、この時期になると当時の記憶が甦り、体調を崩す人たちがいる。

うりずんの雨

ジャン・ユンカーマン監督
2015年作品 148分



基地がある故に、大量のお金がばらまかれ補助金目当てに意味のない事業が作りだされ、貴重な原生林が伐採されていく。

7月10日の参議院選挙の翌日、機動隊に守られ、工事用資財の搬入が始まった。オスプレーの基地が……！！
今まさに、高江で起きていることを撮影した、最新の記録映画

高江～森が泣いている

藤本幸久・影山あさ子共同監督
2016年作品 64分

日時：2017年3月4日(土)13時30分～17時

場所：河原町教会地下 ヴィリオンホール 参加費：無料

主催：日本カトリック正義と平和協議会

共催：京都教区カトリック正義と平和協議会（連絡先：075-223-2291）